



いたびつ **板櫃** <校訓>  
真理の探究  
自主躍進



令和6年1月10日(水)発行  
校長 栗原博巳  
北九州市小倉北区白萩町8番1号  
HP: www.kita9.ed.jp/itabitsu-j/

<学校教育目標>  
自立・共生～自立心にあふれ、他を思いやる心をもった生徒の育成～  
<目指す生徒像>  
①「時を守り、場を清め、礼を正す」生徒(凡事徹底)  
② 自ら考え、正しく判断し、進んで学習や諸活動に取り組む生徒(自立)  
③ 思いやりの心を持ち、協力し合って集団生活の向上に努める生徒(共生)  
④ 与えられた仕事に対し、役割を果たすことのできる生徒(責任)

## 3学期スタート！さらなる成長を期待しています！

さあ、3学期です。3年生は中学校生活の最後の年です。1・2年生の3学期は学年のまとめの時期ですが、次の学年への準備の学期でもあります。1・2学期できなかったことに積極的にチャレンジして次の学年へのステップにしましょう。

☆ 今まで以上に授業を大切にし、1年間の復習をしっかりとしよう！

中学校の勉強はどんどん難しくなります。そして、3年生は進路決定の年です。1・2年生の勉強は基礎となり、入試につながる大切な勉強です。時間を有効に使って受験勉強に取り組みましょう。1・2年生は勉強の基本は授業です。毎日の授業・宿題・提出物などを大切にしましょう。

☆ 係活動・委員会活動などに積極的に取り組もう！

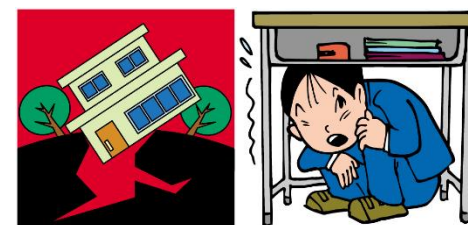
生徒会は新メンバーになりました。生徒会に入った人はもちろん、自覚と責任をもって頑張ってください。ほかの人たちを見てみると、今までも進んで仕事に取り組んでいる人がいました。3学期はみんなが過ごしやすい環境をみんなで作っていきましょう。そのためにも、指示待ち人間ではダメ!!どんどん自分から動いていこう。清掃や朝自習、給食の準備なども真面目に取り組もう。

☆ いろいろな場面で最上級生になる準備をしておこう！

4月からは、1・2年生は2・3年生になります。学校生活の様々な場面で中心学年としての自覚をもつことが大切でしょう。例えば、生活面。遅刻をしたり、だらしない服装をしたりするのがかっこいい先輩でしょうか？また、部活動。いい加減な練習をしているのに、後輩が入部したとたん威張り出す人。こんな人を後輩が信頼するのでしょうか。先輩というのは、堂々として、何事にも一生懸命取り組み、頑張っている姿を見せることができる人のことです。今の自分を振り返って、先輩になる準備をしておきましょう。また、3学期も、学年末考査や校外学習などの行事があります。それらに、どのように取り組み、学校生活に生かしていくかも上級学年につながっていきます。

**【板櫃中のみなさんへ】 「実力」を発揮するとは・・・？**

日ごろから防災意識を高めることが大切です。



### 3学期 始業式 学校長式辞

板櫃中のみなさん、おはようございます。今日は悲しい話から始めなければなりません。真剣に聞いてください。1月1日午後4時10分、石川県で震度7を観測する地震がありました。1月4日現在で石川県内の死者84名、行方不明者179名、負傷者305名、住宅の被害は261棟にのぼっています。

現在、避難生活を余儀なくされている方も多くいらっしゃり、今後もその被害が続いていくのだということをおぼろげに忘れてはなりません。今日は、今一度能登半島地震で被害にあった人たちに思いをはせる機会を共有したいと思います。

みなさんにわかってほしいことは、この震災で大切な家族や友人、住む家を失った人がたくさんいたこと、そしてその悲しみは永久に消えないのだということです。

私たちは自然の力の前では本当に無力です。いくら頑張っても死んだ人は帰ってこないし、地震の記憶が消えるわけではありません。でも一つだけ私たちにできることがあります。それは「絶対に忘れない」ということです。私たちはこの地震のことを忘れてはいけません。私たちが被災地の人たちに思いをはせ、心にとどめて行くこと、そして今、生きていることの素晴らしさや命の大切さをおぼろげにすること、これを続けていくことが真の意味での復興に繋がるのだと校長先生は思います。この後みんな黙とうを行います。ぜひ被災地の人に思いをはせ、私たちが今幸せな学校生活を送ることが出来ていることに感謝してほしいと思います。

では、座ったままでいいので、黙とうをお願いします。「黙とう」

ありがとうございました。

あらためて、始業式の話をする。少し長くなりますが、しっかり聞いてください。初めに、年度末からのインフルエンザの影響で市内の多くの学校が学級閉鎖や学年閉鎖になりました。そのため、2学期の終業式同様、本日の始業式もオンラインで行います。

さて、新年に当たり今日は「未来を変えるには」という話をする。3学期になり気持ちも新たに頑張ろうという決意をした人も多くいるでしょう。その気持ちがフレッシュなうちにぜひ考えてほしいと思います。さて未来を変えるにはどうしたらいいか。結論を先に言ってしまうと未来を変えるには「今という瞬間を大切に精一杯生きる」ということです。

昨年は終業式で話したように、1年生、2年生、3年生みなさん全員が大きく成長した年です。それは、行事に真剣に取り組み、勉強や係活動など学級の一員として頑張ってきた成果です。ただ、その一つ一つはまだ「点」です。そして、未来は、実は、今という瞬間の「点」が繋がって線になった先にあるのです。今を大切に今できることにすべての力を注ぐこと・今を大切に生きないと未来に花は咲きません。私たちの「今」はこれまでの「過去」の積み重ねであり、私たちの「未来」は「今」の一瞬、一瞬の積み重ねの先にあるものだからです。過去は過ぎてしまった時間ですから今更変えることはできません。未来はまだこの後来る時間ですから、先にどうできるものはありません。でも、今言ったように未来が今の積み重ねの上にあるとすれば・今を一生懸命生きること、今やることに全力を尽くすことで未来は変えられる。だから変えるのなら「今、この瞬間」なのです。

3年生のみなさん、3月の卒業まで2か月余りとなりました。自分の目指す進路へ向けて、自信をもって進んでください。2年生のみなさん、4月から最上級生になります。責任も重くなります。3年生から板櫃中をしっかりと引き継いでください。1年生のみなさん、4月には新入生を迎えます。2月2日には新入生説明会があります。後輩に慕われるような先輩になれるよう、そして3年生の支えとなれるよう、今以上に「元気」と「思いやりの心」を身に付けてください。

そして全校生徒のみなさん、みんなで過ごせるのも残りわずかです。友達に、先輩に、後輩に、先生に、保護者の方に、周囲の方たちにたくさんの感謝を伝えてください。

もう一度言いますね。今できることを精一杯頑張らしましょう。2024年がみなさんにとって充実した素晴らしい年になることを願って、先生の話が終わります。